

病害虫発生予察情報

7月月報

令和元年 8月 21日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2019年 7月	気 温 (°C)						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	24.7	-3.4	19.2	-1.0	21.6	-2.1	48.0	83	2.8	7
中旬	26.1	-3.5	20.2	-1.4	22.8	-2.3	92.0	200	6.7	17
下旬	31.8	0.7	24.2	1.5	27.3	1.1	22.5	38	65.4	104
平均	27.7	-1.9	21.3	-0.2	24.0	-1.0				
合計							162.5	100	74.9	52

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

<天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上・中旬は低く、下旬は平年並だった。
- ◎ 降 水 量：上旬は多く、中旬はかなり多く、下旬は平年並だった。
- ◎ 日照時間：上・中旬はかなり少なく、下旬は平年並だった。

上旬：梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が続いた。また、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った空気の影響で気温が低くなった。

中旬：梅雨前線や低気圧の影響により、曇りや雨の日が続き、日照時間がかなり少なくなった。また、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った空気の影響で、期間の中頃にかけて気温が低くなった。

下旬：期間の初めは低気圧や梅雨前線の影響で雨や曇りの日があった。中頃からは太平洋高気圧が張り出し晴れた日もあったが、台風第6号から変わった熱帯低気圧が通過して雨の降った日もあった。関東甲信地方は29日ごろに梅雨明けしたとみられ（速報値）その後は晴れて暑い日があった。

2 作物生育概況

(1) イネ

生育はおおむね順調であった。

(2) 野菜類

果菜類：日照不足の影響で、ナス・キュウリの生育は悪く、トマトは着色が遅れ、インゲンには曲がりが多く見られた。また、キュウリは例年より早く栽培が終了した。スイートコーンは生育が遅れ、穂重は少なく、先端不稔が多かった。

葉根菜類：キャベツ・ブロッコリーの苗の生育は、やや徒長気味であった。

イモ類：サトイモの生育は順調であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の生育状況は以下の通り。

幸水：天候の影響で肥大のムラ、また果実裂果の発生がみられている。

(4) 茶樹

気温が例年より低く、降水量が多く日射量がかなり少なかったため、2茶の生育は遅れぎみであった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（平野部）	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病（山間部）	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 多 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数は多かった。
クサギカメムシ	< 多 >	予察灯の誘殺数は多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャノホソガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

チャドクガ	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

(7) 島しょの病害虫

八丈島：アシタバでマイマイ類、レモンでサビダニ類、ハモグリガ類及びカイガラムシ類の発生が多かった。

小笠原：マンゴーでカイガラムシ類の発生はやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日*1	調査日*2	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
江東区	7月18日	8月6日	0	0
大田区	7月18日	8月6日	0	0
板橋区	7月18日	8月5日	0	0
新宿区	7月18日	8月8日	0	0
足立区	7月18日	8月5日	0	0
青梅市	7月5日	8月5日	0	0
八王子市	7月9日	8月8日	0	0
多摩市	7月9日	8月8日	0	0
国立市	7月9日	8月8日	0	0
東久留米市	7月5日	8月5日	0	0

*1：誘引剤の設置日 *2：誘殺数の調査日

注) ミカンコミバエ種群における発生確認調査の結果は下記のとおり
(植物防疫所ホームページ)

[http://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/
attach/pdf/BD_Tokyo.pdf](http://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/attach/pdf/BD_Tokyo.pdf)

病害虫防除所ホームページ

[http://www.sangyo-
rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/](http://www.sangyo-
rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/)

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。